事業所名

上代継在宅地域支援センター
児童発達支援センター

支援プログラム

作成日

2024年

11月

1日

法人（事業所）理念		私達は障害児者の生命機能の維持向上と生活援助のため誠実に積極的に取り組み、障害児者とその家族を支援します						
通園理念		障害児・者とその家族が地域の中で自身の生活を豊かに築き上げられるよう地域の人々と共に支えていきます						
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・元気に楽しく通園生活が築けるよう、個々のニーズを合わせ、5領域「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の向上を目標に支援計画を立案し、保育やかかわりを通して、ひとり一人の成長や発達を支援していきます。 ・家族同士のつながりを大切に、情報交換の場、交流の場、学びの場、相談の場となるよう支援していきます。 ・地域との結びつきを大切に、居住の区市町村、福祉事業所や保育園などと情報共有し、連携して支援していきます。 						
営業時間		月～金曜日	9時	0分から	17時	0分まで	送迎実施の有無	あり（火・木）
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・健康状態を把握するとともに、保護者と連携して生活リズムを整え、健康に過ごせるよう取り組みます。 ・定期的な摂食機能評価を基に、口腔機能や発達段階に応じた適切な食形態や介助方法を提案していきます。 ・食への興味を育み食事を楽しくめるよう支援します。（安定した姿勢や正しい嚥下方法で食事ができるよう専門職と連携します） ・呼吸状態や痰の状態をみながら、必要に応じて吸引などの排痰介助や安楽な姿勢作りを行い、安心して過ごせるよう支援します。 ・医師の指示のもと、必要に応じて適切に医療ケアを行います。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に必要な姿勢保持や上肢、下肢の運動、動作の改善及び習得、筋力の維持向上を図ります。 ・視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分に活かせるよう、必要に応じて保育内容を工夫し、より効果的な発達支援を行います。 ・シーツブランコやわらべ歌体操などの運動を通して運動機能や関節可動域の維持、増進に努めます。 ・屋内、屋外での様々な活動を取り入れ、場面や季節に合わせた保育を行い経験を拡げていきます。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の認知の特性を理解し、障害特性に応じた視覚・聴覚・触覚などの感覚を十分に活用することで、認知機能の発達を促していきます。 ・親子のスキンシップを大切にし、情緒の安定を図れるよう支援します。 ・選択肢から選ぶ経験を積み重ねる。また、好きなことや苦手なことなどを表情の変化や発声、緊張状態などから把握して情報共有を行います。 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階や表出方法に応じたコミュニケーション手段を選定し、安心して意思表示できるよう支援します。 ・個々の特性に合わせて、指差しやサイン、カードなどの視覚支援を行っていきます。 ・保育の中では、相手を意識することや気持ちの代弁など、個々に応じた表出がしやすい環境を設定します。 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・アタッチメント（愛着）形成と安定を図り、友だちや職員との関わりや様々な保育の中で、興味関心を広げていきます。 ・個々の特性を理解し、それぞれに合わせた声かけ、行動への支援を行う中で気持ちや感情の調整ができるよう支援します。 ・集団保育では、ルールを言葉と視覚的に示す工夫をし、意欲的に取り組めるよう支援します。 ・単独保育では、個別に職員と関ることによって関係を深め、安心して過ごせるよう支援します。 ・地域の幼稚園や保育園、他事業所との交流を通して、人間関係や社会性の構築を図ります。 						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・親子保育では、親同士の繋がりを大切にし、情報交換の場とします。 ・家族向けの勉強会を開催します。実施。栄養、リハビリ、歯科など（年4回） ・保護者の困りごとなどに対して相談できる機会を設定します。 ・個別支援計画作成のための面談で本人・ご家族の要望やニーズを把握して、必要な支援を行います。 ・行事（通年）への家族参加を呼びかけます。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・就学にむけて、火・木は親子分離の単独保育を行います。（送迎あり） ・就学にむけて特別支援学校への見学や特別支援学校教諭の保育見学を行います。就学後には担任教諭と情報共有を行うなど連携を図ります。 ・保育園、幼稚園、他事業所への移行については、必要に応じて関係者会議を行い、支援方法などについて情報共有を行います。 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・各関係機関との連携を図りながら地域の中で安心して過ごせるよう支援します。必要に応じて関係者会議を開催します。 ・地域の保育園との交流保育を行います。（年7回） ・個別支援計画作成の際には、他事業所や通っている幼稚園や保育園、計画相談員と情報共有を行います。 ・併用施設への見学を行い情報共有を行います。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・センター内の基本的な研修への参加（感染対策・環境衛生・虐待防止・防災、個人情報など） ・経験年数に応じた外部研修への参加 ・自己申告制度の実施 ・研究や実践報告会への取り組み ・介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修（特定の者対象・不特定多数の者対象）の受講 	
主な行事等		入園式・春の遠足・家族交流会・OB交流会・秋の遠足・運動会・卒園旅行・センター祭・クリスマス会・発表会・卒園式 節分、ひな祭り、七夕、芋ほり、誕生会、防災訓練						